



# 日本テクノ・ラボ株式会社 (札幌アンビシャス：3849)

2024年3月期 第3四半期  
決算補足説明資料

January 31, 2024

<https://www.ntl.co.jp/>



# 2024年3月期3Q 決算概況

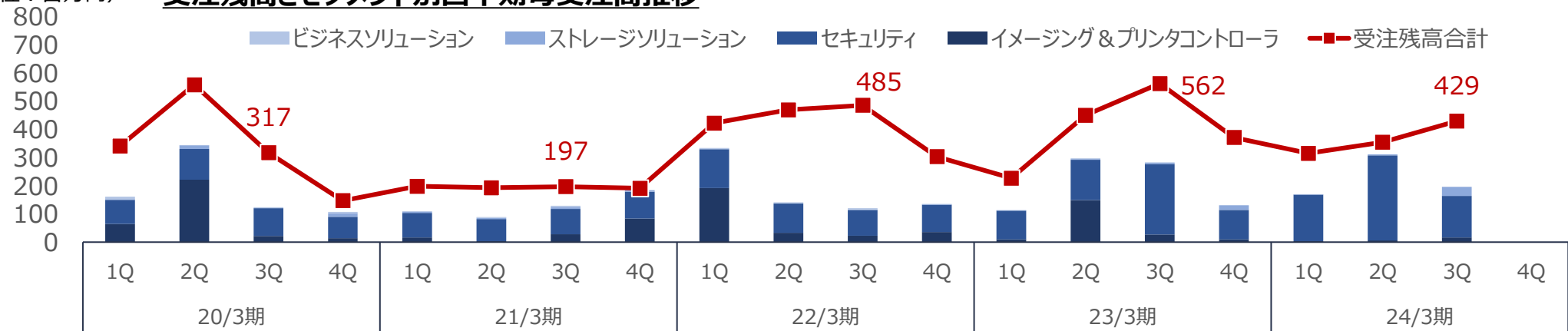
# 2024年3月期 3Q総括

イメージング&プリンタコントローラの大型案件納品が一段落したこともあり売上高は前期比横ばい。  
受注状況は引き続き好調を維持し受注残高は高水準。

- R&D強化、採用強化、労務環境整備等により販売費及び一般管理費が増加。営業利益は△20百万円の赤字。
- FIRE DIPPER（OSCE含む）を中心にセキュリティの受注好調。ストレージも好調。
- 受注残高は4.2億円

(単位：百万円)

受注残高とセグメント別四半期毎受注高推移





# 損益計算書サマリー

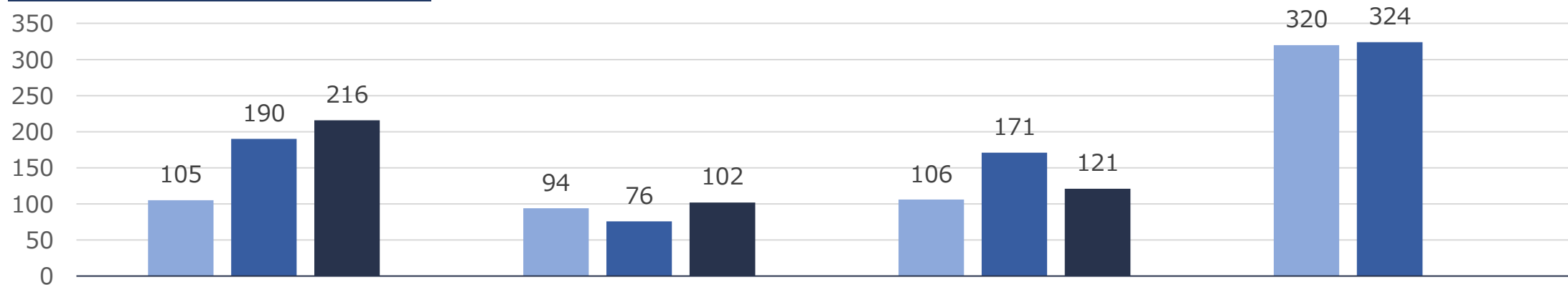


単位：百万円	2024/3期 3Q実績	2023/3期 3Q実績	前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	<b>440</b>	438	+2	+0.6%
売上総利益	<b>250</b>	246	+4	+1.8%
営業利益	△ <b>20</b>	13	△34	-
経常利益	△ <b>17</b>	6	△24	-
四半期純利益	△ <b>13</b>	1	△14	-

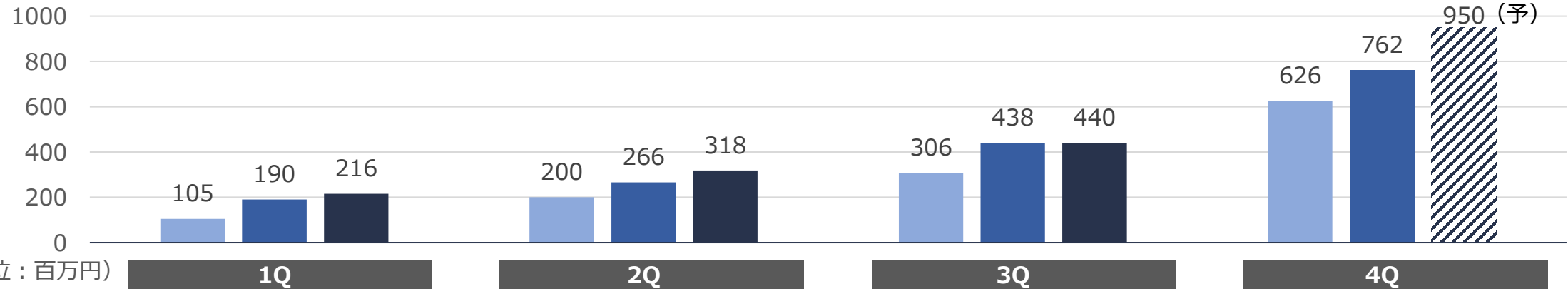
# 四半期業績推移 (売上高：過去3期比較)

## 四半期毎の売上高推移

■ 2022/3期 ■ 2023/3期 ■ 2024/3期



## 累計売上高推移



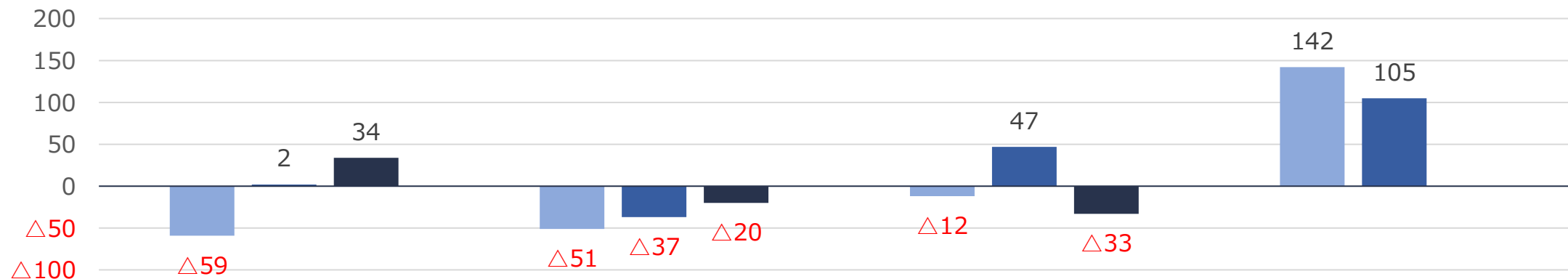
(単位：百万円)

# 四半期業績推移（営業利益：過去3期比較）

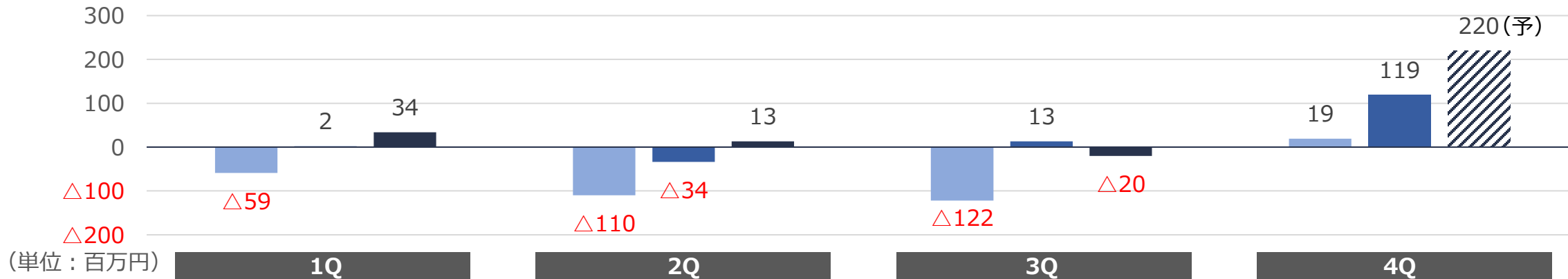


## 四半期毎の営業損益推移

■ 2022/3期 ■ 2023/3期 ■ 2024/3期



## 累計営業利益推移



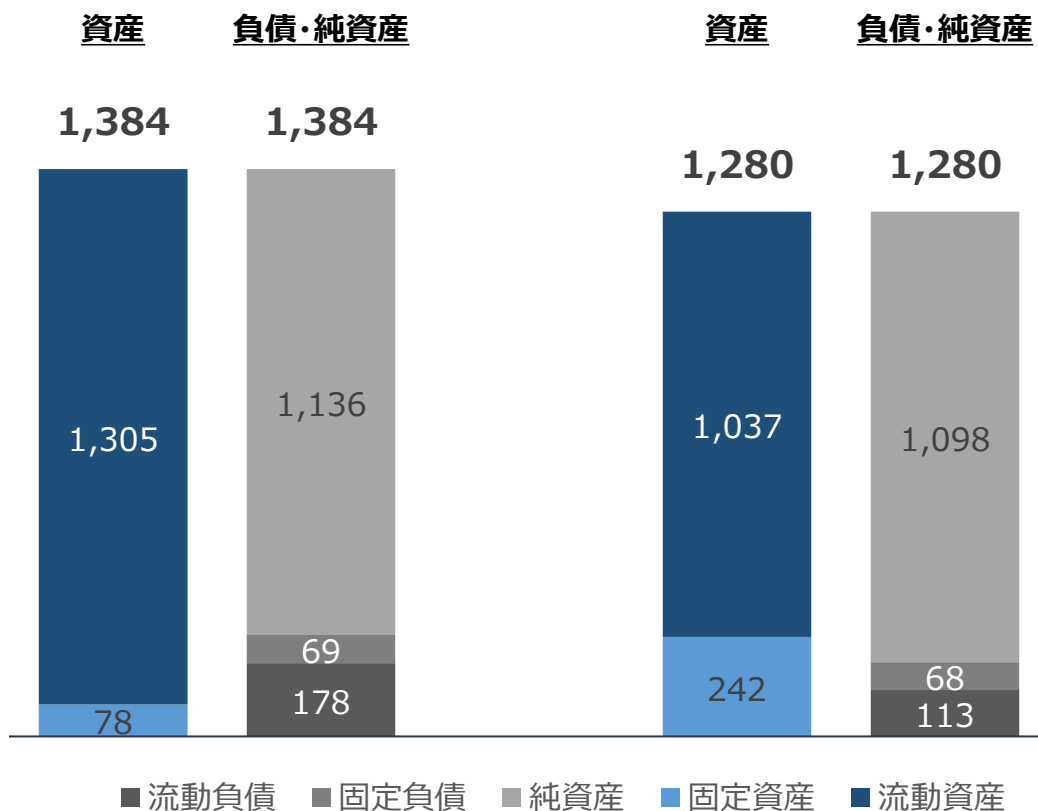
# 貸借対照表



2023年3月末

2023年12月末

主な増減要因



単位：百万円

## 資産の部

電子記録債権：22百万円増加  
 仕掛品：31百万円増加  
 現金及び預金：113百万円減少  
 売掛金及び契約資産：220百万円減少  
 保険積立金：104百万円増加  
 差入保証金：51百万円増加

## 負債・純資産の部

未払法人税等：37百万円減少  
 未払消費税等：20百万円減少  
 繰延税金負債：1百万円減少  
 利益剰余金：37百万円減少（配当金の支払：24百万円）



# 2024年3月期3Q セグメント別概況



# 事業領域：セグメント



# セグメント別情報 売上高／セグメント利益



単位：百万円		2024/3期 3Q		2023/3期 3Q		前年同期比較	
		売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
イメージング&プリンタコントローラ	売上高	<b>125</b>	<b>28.4%</b>	171	39.2%	△46	△27.0%
	セグメント利益	<b>26</b>	—	70	—	△43	△62.1%
セキュリティ	売上高	<b>290</b>	<b>66.0%</b>	258	58.9%	+32	+12.6%
	セグメント利益	<b>74</b>	—	64	—	+10	+16.0%
ストレージソリューション	売上高	<b>24</b>	<b>5.5%</b>	7	1.8%	+16	+208.1%
	セグメント利益	△ <b>15</b>	—	△31	—	+16	—
ビジネスソリューション	売上高	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	0	0.1%	△0	△52.8%
	セグメント利益	<b>0</b>	—	0	—	△0	△66.8%

# イメージング & プリンタコントローラ事業



## 前期（大型案件）からの反動で減収、減益。

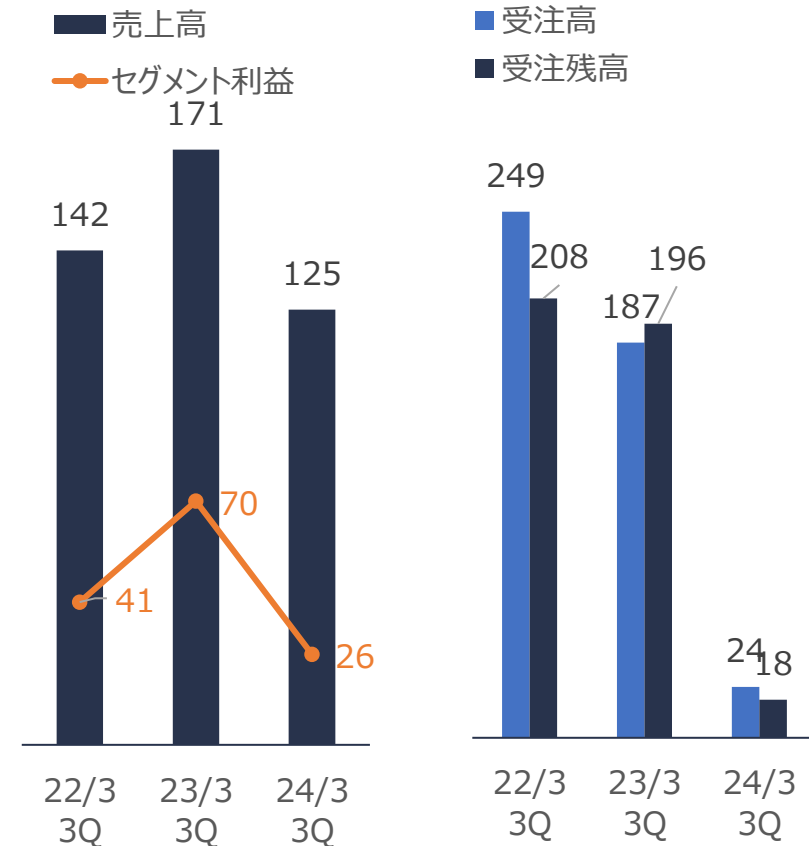
ニューノーマルの生活様式が浸透する中でパッケージデザイン等における多様性、短納期のニーズが拡大。

高機能なインクジェットプリンタコントローラへの期待が高まっている状況に変化無し。

足元は、大型案件一巡で受注高も減少しているが、将来的需要は大きく、バリュアブル印刷へのニーズを的確にとらえるべく、業界ニーズを先取りする研究開発に注力。

セグメント別業績推移

単位：百万円



# セキュリティ事業



**情報・映像ともに引合い活発。受注好調。  
OSCEも貢献。受注残高は3.7億円**

**【情報】**

主力製品SPSEが前期総務省に採用されたことをきっかけに、自治体からの引合い増加。導入数も順調に拡大中。

**【映像】**

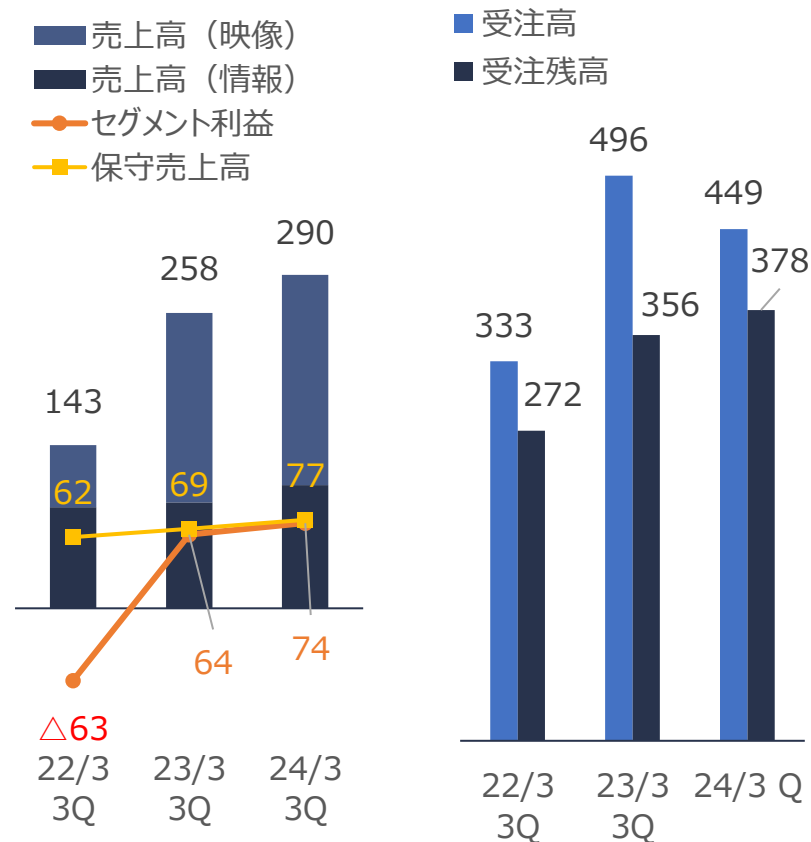
映像データをリアルタイムに解析、感知する技術へのニーズが増加傾向。電力、公共案件に加え商業施設案件に向けてもニーズに応えるべくAIを利用した新機能の開発を推進。

原子力発電所などプラント監視案件も引合い増加。

「医学部向けOSCE試験対策用システム」は金沢大学で採用され、他の国公立大学、私立大学からの引合い、受注拡大。

セグメント別業績推移

単位：百万円





# ストレージソリューション事業



## LTOを使ったMnemos NEXTが高評価。 自動車メーカー向け大型案件受注。

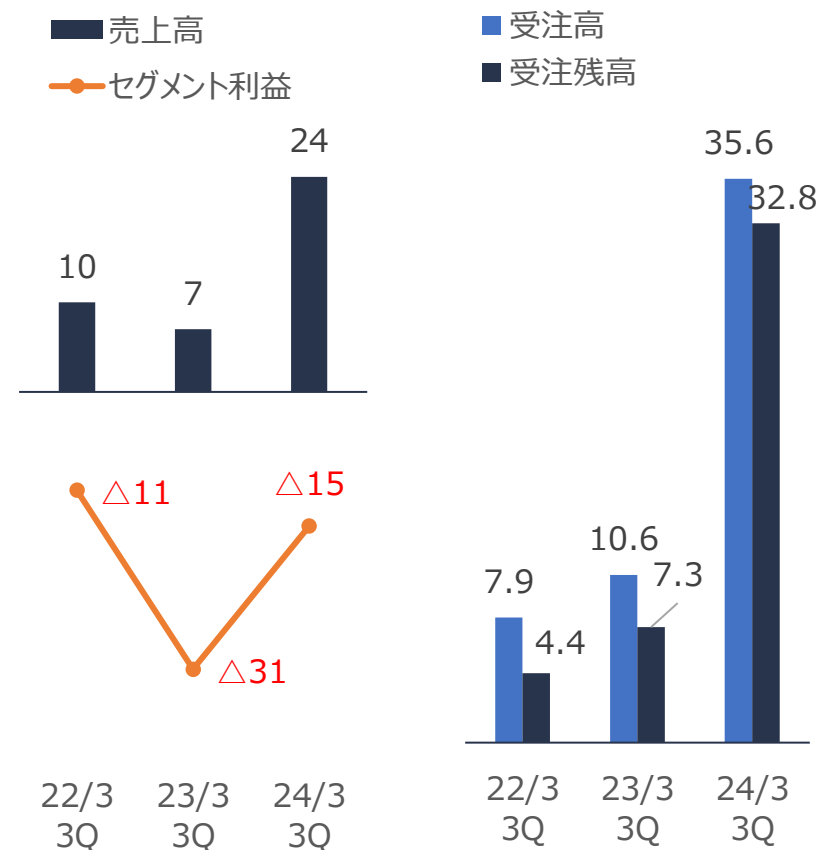
ペタバイトクラスの大容量アーカイブ案件引合い増加。  
脱炭素社会の動きの一環として、省電力の観点からもビッグデータ保存用途として、医療現場、医療研究機関等向けも期待。

### LTO (Linear Tape-Open) の特長

- ▶ **長期間のデータ保存が可能**：磁気テープは30年を超える期待寿命を持ち、長期間のデータ保存に向く。
- ▶ **データ転送速度**：最新世代であるLTO-9の伝送速度は、非圧縮時において400MB/s、圧縮時で900MB/s。HDD=150MB/s程度、SATA接続のSSD=500MB/s程度
- ▶ **低コスト・省エネルギー**：HDDなどと比較するとデータの保管可能容量が大きいことに加え、メディアそのものの価格も安価。使用時に通電の必要がないため、消費電力も小さい。

### セグメント別業績推移

単位：百万円



# 2024年3月期通期業績予想と4Qの取り組み

- 通期計画達成に向け、案件早期刈り取りと、受注残の早期納品に注力。
- 今後の成長が期待できる事業分野にリソースをシフトし、来期更に飛躍するための足場づくり。

単位：百万円	2024/3期 予想	2023/3期 実績	前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	<b>950</b>	762	+187	+24.6%
営業利益	<b>220</b>	119	+100	+84.6%
経常利益	<b>220</b>	122	+97	+79.6%
当期純利益	<b>130</b>	86	+43	+50.2%

# 中期成長イメージ



**少数精鋭**

**Only Oneの技術**

セキュリティ 情報

セキュリティ 映像

ストレージソリューション

イメージング&プリンタコントローラ

ビジネスソリューション



<https://www.ntl.co.jp/>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。又、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。